

## 「災害について」

宮崎県 日南市立吾田小学校 6年 <sup>ひだか</sup> <sup>しの</sup>  
日高 詩乃

私の家のとなりには、祖母の家があります。その家のうらに山があるのですが、今年の春先の大雨で、そのうら山の一部がくずれてしまいました。大した被害はなかったのですが、くずれて来た土が家のすぐ近くまで来ていました。祖母は一人暮らしで、もし真夜中にもっと大きく土がくずれて来たら命を落としていたかもしれないと思うと、とても怖くなりました。私はその事を聞いて、すぐ祖母の家に飛んで行きました。そこで祖母の元気な顔を見てほっと安心しました。

今、日本では2011年東日本大震災が発生したり、集中豪雨災害など、たくさんの悲しい災害が発生しています。災害はいつ起こるのかわかりません。いつ起こるのかわからないからこそ、日々の訓練で備えることが大切なんだと改めて思いました。

この事をきっかけに、私は身近での対策にはどのようなものがあるのだろうと考えるようになりました。

すぐに災害情報を得ることができたり、予知ができていれば心構えや準備ができていのに、と家族で話していました。

すると次の日、母が職場から防災ラジオを持って帰って来ました。もし停電になりテレビがつかなくなると、今私はどこに逃げるべきなのかという事などが分からなく行動がおそくなり、命をなくすかもしれません。だからそういう時に、防災ラジオを使って少しでも早く情報を得ることができれば自分の命も救われるかもしれません。

非常食も母が買って来ました。私達家族は、東日本大震災の災害にあった人達が、避難所生活が始まった最初のころ、食料も津波に流され、食べる物がなく困っている映像を見て非常食の大切さを改めて感じたからです。

そして玄関に懐中電灯を2つと、リビングにも懐中電灯を2つ置いています。

もし大災害が夜間に発生し避難することになると、停電になる可能性も高くなります。その時何も見えなくてケガをしてしまい、逃げるのがおそくなってしまふかもしれないので、懐中電灯で明るく照らせばケガもなく速く避難できるからです。

私は今までの災害をふり返り、災害は起こらないようにと願いますが、もし起きた場合に備えて万全の準備をしておく事が大切だと感じました。

そして、大勢の人が助かり、大勢の人が毎日幸せで暮らせればいいです。